

令和7年度 事業報告書

兼 第3次中期事業計画進捗状況検証報告書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

1 事業の概要

令和4年度に財政悪化が顕在化して以降も、芦屋市シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、第2次（令和元年度～令和5年度）及び第3次中期事業計画（令和6年度～令和10年度）を基本方針として、早期の財政健全化を目指し、会員・役員・事務局が連携して事業の見直し及び推進に取り組んでまいりました。その結果、令和7年度においても収支について改善傾向が見えています。

しかしながら、近年の高齢者雇用情勢の変化により、60歳代で新規入会する会員が大幅に減少し、会員の年齢構成は70歳以上が全体の8割を超える状況となっています。このため、高齢会員に適した就業機会の確保が引き続き課題となっています。また、インボイス制度に伴う物価上昇の懸念や、インボイス制度による消費税納税額の増加など、センター事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いています。

2 数値目標に対する実績

		数値目標	実 績	達成率
(1) 会員数		1,220 人	1,014 人	83.1%
(2) 就業率	受託・独自	76.0%	73.9%	97.2%
	派遣	100%	100.0%	100.0%
(3) 就業延人員	受託・独自	89,000 人	74,904 人	84.2%
	派遣	20,500 人	19,055 人	93.0%
(4) 事業高	受託・独自	375,000 千円	366,472 千円	97.7%
	派遣	103,000 万円	105,820 千円	102.7%

会員数は1,014人、就業率は73.9%となり、いずれも目標値には届きませんでした。事業高については、公共が前年度比0.5%減、民間が2.5%減となり、独自事業は2.4%増となったものの、総合では2.2%（835万円）の減少となりました。結果として、受託・独自事業の合計事業高は3億6,647万円となり、目標値を達成することはできませんでした。

一方、派遣事業の契約高は前年度比1.3%減の1億582万円となりましたが、目標値は達成しました。

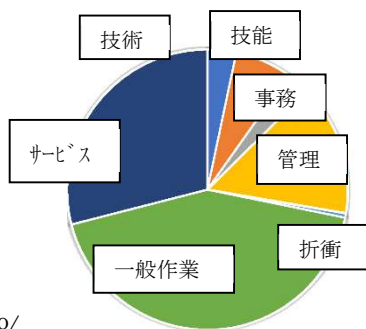
3 事業実績及び就業活動

(1) 請負事業（受託事業及び独自事業）

職 群	仕事の内容	民 間 (千円)	公 共 (千円)	計 (千円)	就業延人員 (人)
技 術	各種講座・教室指導等	11,870	96	11,966	3,907
技 能	剪定・網戸張替・縫製等	23,544	136	23,680	2,161
事 務	受付、集計事務・筆耕等	6,433	3,708	10,141	1,375
管 理	施設・駐輪・駐車場管理等	52,682	2,785	55,467	8,689
折 衝	販売・配達業務等	943	871	1,814	445
一般作業	商品整理・屋内外清掃等	147,598	9,371	156,969	34,039
サービス	家事、育児支援・広報紙配布	76,264	30,171	106,435	24,288
令和7年度計(A)		319,334	47,138	366,472	74,904
令和6年度計(B)		327,430	47,393	374,823	79,179
前年度比較(A)-(B)		△8,096	△255	△8,351	△4,275
前年度比率		97.5%	99.5%	97.8%	94.6%

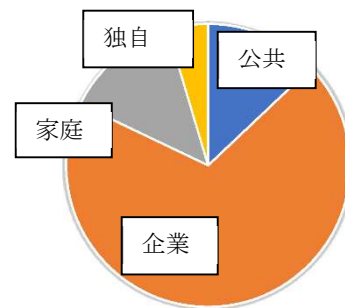
職群別比率

- ①技術 3.3%
- ②技術 6.5%
- ③事務 2.8%
- ④管理 15.1%
- ⑤折衝 0.5%
- ⑥一般作業 42.8%
- ⑦サービス 29.0%



事業別比率

- ①公共 12.9%
- ②公社 0.0%
- ③企業 69.2%
- ④家庭 13.3%
- ⑤独自 4.6%



(2) 労働者派遣事業

	派遣事業高	就業実人員	就業延人員	手数料収入
令和7年度	105,819,530 円	160 人	19,055 人	8,377,050 円
令和6年度	107,215,289 円	170 人	20,413 人	8,899,000 円
前年度比較	98.7%	94.1%	93.3%	94.1%

※兵シ協が派遣事業元となりセンターは芦屋市実施事務所として、取扱い手数料収入のみがセンター収入となります。

(3) 請負事業及び派遣事業を合わせた事業実績

	就業延人員	令和 7 年度	令和 6 年度
受託事業	68,778 人	349,764,109 円	358,506,325 円
独自事業	6,126 人	16,708,164 円	16,316,114 円
派遣事業	19,055 人	105,819,530 円	107,215,289 円
合計	93,959 人	472,291,803 円	482,037,728 円

(4) 独自事業実績

各事業の実績は以下のとおりです。

事業名 (事業開始順)	令和 7 年度			令和 6 年度
	利用者 延人数	就業延 人 員	事業実績	事業実績
はつらつ工房	17 人	24 人	79,020 円	42,600 円
パソコン研究会	199 人	159 人	383,000 円	403,000 円
キッズサポート まつぼっくり	584 人	962 人	1,763,900 円	2,083,700 円
着物リメイク・お直し	39 人	53 人	175,742 円	226,664 円
たのしい放課後教室	2,359 人	1,418 人	2,335,750 円	2,246,750 円
英語クラス (E・S・S・T)	762 人	203 人	538,900 円	527,450 円
書道教室	674 人	163 人	1,153,000 円	1,203,000 円
傾聴グループ はつらつ コール	200 人	96 人	207,412 円	95,000 円
健康表現体操	613 人	107 人	306,000 円	337,500 円
健康コミュニケーション 麻雀	1,152 人	401 人	921,600 円	816,000 円
みんなで歌おう	831 人	68 人	332,000 円	369,200 円
着付け教室	73 人	56 人	177,100 円	170,200 円
手工芸製作販売 花こもの	—	—	—	500 円
はつらつ写真館	—	—	—	12,000 円
刃物研ぎ	344 人	140 人	447,400 円	355,800 円
袋物等製作販売 夢きらら	65 人	41 人	36,800 円	28,000 円
子ども絵画教室 New York Art Studio For Kids	140 人	39 人	348,250 円	269,500 円
はつらつ憩サロン	77 人	32 人	30,800 円	56,000 円
小町カフェ	5,883 人	1,311 人	3,719,240 円	3,629,010 円
絵手紙教室	71 人	20 人	71,000 円	89,000 円
アダージョ音楽クラブ	784 人	651 人	3,433,450 円	3,246,400 円

事業名 (事業開始順)	令和7年度			令和6年度
	利用者 延人数	就業延 人員	事業実績	事業実績
オンライン販売 小町モール	—	—	—	2,640 円
養生気功講座	83 人	32 人	83,000 円	46,000 円
楽しいお灸とツボ健康講座	75 人	34 人	60,000 円	59,200 円
住環境サポートチーム講座企画	0 人	0 人	0 円	1,000 円
エンジョイ・シニアライフ (ESL)	131 人	116 人	104,800 円	—
合 計 (23 事業)	15,156 人	6,126 人	16,708,164 円	16,316,114 円

4 会員の登録状況

(1) 入会及び退会

令和7年度の新規入会者は82人で、前年度より15人減少しました。一方、退会者は115人で、前年度より79人減少しました。この結果、会員数は33人減少し、1,014人となりました。

また、女性比率は前年度より0.5ポイント低下し47.8%となりました。

退会者の抑制策として導入したプラチナ会員制度については、令和7年度は49人がプラチナ会員として登録し、一定の退会抑制効果が見られました。

	令和7年度末	入会者	退会者	令和6年度末
男	529人	42人	54人	541人
女	485人	40人	61人	506人
計	1,014人	82人	115人	1,047人

(2) 入会動機及び退会理由

入会動機は前年度より「健康維持・増進」「仲間作り」の割合が増加し「生きがい・社会参加」「経済的理由」の割合が減少しました。また、退会理由では「病気」の割合が増加し「加齢」の割合が減少しています。

入会動機	
健康維持・増進	32.9%
生きがい、社会参加	23.2%
時間的余裕	21.9%
経済的理由	9.8%
仲間づくり	9.8%
その他	2.4%

退会の理由	
病気	31.3%
就業機会・希望なし	13.9%
加齢	9.6%
家庭の事情（介護等）	7.8%
他所就業・就職	7.8%
その他・転居・未納等	29.6%

(3) 在会期間別 (単位：人)

	1 年未満	1 年以上 2 年未満	2 年以上 4 年未満	4 年以上 6 年未満	6 年以上 8 年未満	8 年以上 10 年未満	10 年以上
男	3 9	2 9	8 2	6 2	5 8	4 4	2 1 5
女	3 9	4 2	9 6	7 1	4 4	4 2	1 5 1
計	7 8	7 1	1 7 8	1 3 3	1 0 2	8 6	3 6 6

(4) 年齢別会員数 (単位：人)

	64 歳以下	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80 歳以上	平均年齢
男	8	5 7	1 2 6	1 9 5	1 4 3	7 6. 7 歳
女	2 8	7 3	1 1 7	1 6 5	1 0 2	7 5. 3 歳
計	3 6	1 3 0	2 4 3	3 6 0	2 4 5	7 6. 0 歳

(5) 年齢別就業率 (単位：％)

	64 歳以下	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80 歳以上	全体
男	1 0 0. 0	7 5. 4	7 7. 8	8 1. 0	7 7. 6	7 9. 0
女	7 1. 4	7 2. 6	7 0. 9	6 9. 1	5 9. 8	6 8. 2
計	7 7. 8	7 3. 8	7 4. 5	7 5. 6	7 0. 2	7 3. 9

5 組織活動

(1) 定時総会

開催日・場所・出席者数	主 な 議 題
令和 7 年 5 月 2 9 日 (木) 芦屋市民会館大ホール (ルネサンス クラシックス 芦屋ル ナ・ホール) 出席会員数 8 6 2 人 (委任状出席 6 9 5 人を含む) ※総会当日会員総数 1, 0 4 8 人	○令和 6 年度収支補正予算について ○令和 6 年度事業報告兼第 3 次中期事業計画 進捗状況検証報告について ○令和 6 年度収支決算、監査報告について ○令和 7 年度事業計画、収支予算、資金調達及 び設備投資の見込みについて ○センター定款の一部変更について

(2) 理事会

会議開催日	主 な 協 議 内 容
第 1 回 4 月 2 5 日	○理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について ○令和 6 年度収支補正予算 (第 2 号) について (専決報告) ○令和 7 年度定時総会の開催について ○令和 6 年度事業報告について ○令和 6 年度収支決算報告、監査報告について ○被表彰者の決定について ○センター定款の一部変更について ○センター安全就業基準の一部改正について

	○Ashiya Komachi Mall 規約を廃止する規約の制定について
第2回 6月2日	○定時総会について
第3回 10月24日	○理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について ○令和7年度上半期事業及び収支報告、中間監査報告について ○センター業務の変更について ○センター利用規約の制定について ○センター会員業務就業規約の制定について ○センター会員配分金規程の一部改正について ○センター契約金及び事務費に関する規程の一部改正について ○センター会員就業規程の一部改正について ○センター会員立替払等事務取扱要領の一部改正について ○センター印章規程の一部改正について ○事務局職員の表彰について
第4回 12月26日	○センター事務局職員給与規程の一部改正について ○センター事務局嘱託職員の就業等に係る取扱要綱の一部改正について ○センター事務局職員就業規程の一部改正について ○センター入会及び退会に関する規程の一部改正について ○センター役員改選に係る基準等の一部改正について ○センター子育て支援班「キッズサポートまっぼっくり」一時預かり事業実施要領の一部改正について
第5回 3月13日	○令和8年度事業計画について ○令和8年度収支予算について ○令和8年度資金調達及び設備投資の見込みについて ○特定費用準備資金計画の変更について ○センター芦屋市介護予防・日常支援総合事業における指定生活支援型訪問サービス運営規程の一部改正について
第6回 3月27日	○センター役員の報酬等及び費用弁償に関する規程の一部改正について ○センター役員の報酬額の決定について ○センター会員費用弁償規程の一部改正について

ア 役員の報酬等の改正（令和8年4月1日改正）

- ① 役員の報酬について、総会において定める総額の範囲及び規程で定める支給基準以内で理事長の報酬を月額7,500円（現行5,600円）その他の理事・監事の報酬を月額5,000円（現行3,500円）に改正しました。
- ② 役員及び委員の費用弁償を月額2,500円（現行1,500円）に改正しました。

イ 役職員で8月15日に芦屋市長、12日に市議会議長・副議長に直接面会し、高齢者に適した就業機会の確保や提供、センターの成長に見合った補助金等の更なる支援、活

動拠点である事務所機能の充実について要請しました。

(3) 部会・委員会等

ア 部会

① 総務部会（部会開催：7回）

- ・理事会に諮るセンター規程、要綱、規約の制定及び改廃等
- ・事務局職員の採用に関すること。

② 事業運営部会（部会開催：12回）

第3次中期事業計画（令和6年度～令和10年度）及び令和7年度事業計画に基づいて、事業運営の具体的な実施について協議、検討を行いました。主な内容は下記のとおりとなっています。

- ・定時総会について
- ・シルバーフェスティバルについて
- ・事務局職員の採用について
- ・芦屋市長及び議長への統一要請行動について
- ・新たな契約方法への移行について
- ・はつらつ館の使用について
- ・新入会会員拡大の取組強化について
- ・新規入会キャンペーンの実施について
- ・次期役員体制について

イ 安全・適正就業推進委員会（委員会開催：6回）＝安全・適正就業の推進＝

令和7年度事業計画に基づき安全就業、適正就業の推進に取り組みました。

- ・安全・適正就業推進委員会委員、安全推進員、担当職員が就業現場を巡回パトロールし、危険作業の有無・注意喚起を行い、事故防止に努めました。（3回実施）
- ・「安全適正就業だより」を8月、12月の2回発行し、安全意識の周知・啓発を図りました。
- ・「事故ゼロ」を目標に取り組みましたが、傷害事故が1件（昨年3件）第三者への賠償事故は1件（前年0件）発生しました。
- ・安全に関する講習会を次のとおり実施しました。

開催日	講習会名称	目的及び内容	参加人数
7月10日	安全講習会	道路横断中の危機性を疑似体験できる講習（安全強化月間事業）	16名
11月13日	安全推進大会	事故「0」を目指しての取組内容発表。救急救命時の初期対応に関する講話。	36名
2月26日	健康講座	健康運動指導士による講話、身体機能測定と転倒リスク評価	17名
3月18日	安全交通講習会	4月より実施の自転車交通反則制度について	32名

ウ 専門委員会

① 広報啓発委員会（委員会開催：6回）＝普及啓発＝

令和7年度事業計画に基づき会員数の増加、広報・啓発活動に取り組みました。

- ・会報「はつらつ芦屋」第40号（1月）を発行し、会員及び関係機関に配布しました。
- ・全戸配布の「しるば～たいむず」第29号（9月）及び第30号（3月）を発行し、市内全世帯に配布しました。
- ・毎月センターホームページを更新し、センターの情報発信の充実を図りました。
- ・はつらつ館玄関前の掲示板に月間スケジュールを掲示し、センター事業を広く市民、会員に紹介しました。
- ・「きっと見つかる シルバーで」と題して、市役所北館展示コーナー（3月16日～31日）において会員活動パネル展を開催しシルバー人材センター事業の周知に努めました。
- ・シルバーフェスティバル等のイベントチラシを作成し周知を行いました。
- ・12月～3月を会員入会促進月間とし、「会員紹介キャンペーン」を実施しました。（5名入会）
- ・街頭普及啓発活動として「会員募集」「センター紹介チラシ」を街頭配布し、会員増加及び就業開拓の普及啓発活動を10月15日、2月13日にJR芦屋駅周辺で実施しました。
- ・9月・10月にセンター紹介チラシを市内の集会所等の公共施設に配架しセンターの活動を周知しました。

② 会員活動委員会（委員会開催：6回）＝会員相互・地域との連携・親睦＝

令和7年度事業計画に基づき会員相互の連携と親睦の推進、地域との交流を図るため、以下の内容を実施しました。

実施日	内 容
4月19日	清掃ボランティアを実施 国道2号線（東西）、中央線（南北）沿いの清掃 （会員・職員42名参加）
10月4日	清掃ボランティアを計画；場所は同上 雨天のため中止 （会員・職員29名参加予定）
10月18日	第7回シルバーフェスティバルを開催 はつらつ館全館 来場者数：約150人 初めての試みとして独自事業の紹介、作品販売を行い、同好会とともに「子どもの遊び場」を設けるなどシルバー内部からの発信を強化しました。 養父市シルバーと連携、またボランティア会員の協力により、一体となって、広く市民にシルバー事業を紹介することができました。
10月26日	みんなの秋祭り（主催：あしやエリアプラットフォーム） 宮塚公園 来場者数：約500名の家族 はじめての試みとして地域のイベントに参加し、金魚すくい、

	輪投げ、コイン落としの遊びを実施
11月14日	会員研修バスツアーを実施（会員39名参加） 行先：滋賀県湖南・竜王・信楽 国宝長寿寺拝観
1月9日 ～ 2月4日	保育所ボランティア（参加者延べ58人） 9月から手作りおもちゃ作り（参加者延べ84人）を始め、1月から市内7か所のこども園・保育所で子どもたちと楽しく交流しました。

・会員同好会活動報告

会員が自主的運営をしている各種同好会も活発に活動しました。

同好会名	活動回数	参加者延人数
ゴルフ同好会（ASG会）	6回	80人
囲碁同好会	35回	143人
写真同好会（デジイチ会）	17回	189人
絵画クラブ（OLIVE）	25回	59人
はつらつサロン（ワイ・ガヤの会）	12回	78人
ビデオ散歩倶楽部	6回	34人
麻雀同好会（すずめクラブ）	24回	356人
カラオケ同好会（ひばりクラブ）	11回	111人
将棋同好会	24回	88人
アンサンブル同好会（ど～れ）	27回	170名
ジャズを楽しむ会（All That Jazz）	12回	59人
コーラス同好会（うたクラブエチュード）	20回	163人
コントラクトブリッジ研究会	20回	127人
マジック研究会	20回	56人
バルーン同好会	14回	71人
クッキング同好会	11回	93人
爽やかストレッチサロン	22回	153人
ダーツ同好会（ASDC）	0回	0人
同好会（18グループ）活動実績延合計数	306回	2,030人

③ 事業推進委員会（委員会開催：6回）＝事業の推進＝

令和7年度事業計画に基づき事業の推進に取り組みました。

ア 独自事業の推進

- ・各独自事業から提出された活動報告書の検証結果を基に「独自事業活動報告書検証会」を開催し、事業者と委員会、事務局の意思疎通を図りました。（7月31日、21事業参加）

イ スキルアップを図るための講習会の定着と充実

- ・「大会・講座・研修会開催予定一覧表」を全会員に配布しました。入会時のオリエンテーション、Smile to Smileなどを活用して会員の意識向上を図りました。
- ・「接遇講座」を5回（受講者92名）、「認知症サポーター養成講座」を3

回（受講者65名）開催しました。これらの講座は、業務の質を確保するうえで不可欠なもの（ベーシック講座）です。これまでの受講者は各講座で延べ528名、317名です。もっと多くの会員に受講していただくように講座の内容の充実など、対策を検討していきます。

- ・需要に対して就業率が低い清掃業務について、改善を図るためのアンケート調査を実施しました（回答者166名、回答率74%）。事業従事者の声を参考にして今後の事業拡大に努めます。

ウ 行政及び地域のニーズ把握と新規事業の検討

- ・官公庁の包括契約の拡大や、インボイス制度、フリーランス法の実施、物価高騰、最低賃金の見直しなど、社会情勢の変動時期でもあり新しい進展はありませんでした。
- ・多様な働き方については、事務局で派遣業務の拡大について進めています。

6 会員の知識と技能の向上

(1) 新入会員対象のオリエンテーション

開催日	内 容	参加者	参加数
毎月第3火曜日 9:30～11:30	会員の心得、就業について 接遇・安全・適正就業等	新入会員全員	82人

(2) 会員の知識・技能の向上のために講習会を開催しました。

講習名	開催日	内 容	参加数
ベーシック講座（必須講座）	6月30日、8月12日、 10月31日、12月4日、 2月6日	接遇講習会 （講師：事業推進委員会委員）	92人
	7月8日、9月11日、 1月30日	認知症サポーター養成講習会	65人
マンパワーチーム講習会	毎月第4火曜定期開催 （新人対象）	窓ガラス・網戸等の実技 （講師：チームメンバー）	21人
清掃講習会	4月30日	清掃講習会	4人
剪定講習会	5月15日	剪定講習会	4人
子育て支援新人研修	随時（9回）	まつぼっくり・会員の心得 子どもの発達、安全等	9人
子育て支援ステップアップ研修会	4月25日、9月26日	救命講習、今と昔の子育て の違い（市出前講座）	25人
総合事業従事者研修	3月30日	苦情とハラスメントについて	11人
福祉・家事援助サービス講習会	3月31日	意見交換会	10人
ビジネス筆耕育成講座	毎月第2・4木曜日	筆耕の育成	48人
スマートフォン活用講習会（兵シ協主催）	7月29日	あんしん安全に使うために等	10人

家事支援講習会 (兵シ協主催)	11月10日・11日	人と心をつなぐ「傾聴講座」・清掃マイスター2級 資格取得講座	7人
--------------------	------------	-----------------------------------	----

7 事務局活動等

(1) 情報の収集及び調査活動

事業の適正かつ効率的な運営を図るため、全シ協、兵シ協、他市センター及び関係団体と連携し事業活動や就業に関する情報の収集に努めるとともに積極的に上部組織主催の会議等に参加しました。

① 関係団体の会議

開催日	内 容
6月11日	第1回阪神ブロック会議
6月17日	兵シ協第1回事務局長会議
10月14日	兵シ協第2回事務局長会議
10月31日	兵シ協事業推進大会
12月 1日	兵シ協第2回中長期計画推進委員会
2月 9日	兵シ協第3回事務局長会議
3月 9日	兵シ協第3回中長期計画推進委員会
3月17日	第2回阪神ブロック会議（オンライン）

② 視察来訪

来訪日	来訪センター等	主な視察内容
9月 1日	岐阜県可児市SC	独自事業
9月30日	東京都世田谷区SC	独自事業、派遣事業
12月10日	大阪府高槻市SC	独自事業

③ 視察訪問

来訪日	来訪センター等	主な視察内容
2月16日	西宮市SC	新入会員拡大の取組

(2) 組織・財政基盤の強化

- ・安定的な財政運営を図るため、国及び芦屋市から各2,000万円の補助金の交付を受けるなど財源確保に努めています。
- ・経費の節減や事務の軽減を図るため業務報告書の入力事務の一部を兵シ協に委託するなど効率的な事務執行に取り組みました。

(3) デジタル化の推進

- ・センターと会員とのコミュニケーションツールとして、会員専用サイト「Smile to Smile」を積極的に活用し、事務局だより、お仕事紹介、配分金明細、就業条件の事前明示等を配信しています。3月末現在の登録者数は804名（79.3%）となっています。

(4) その他

- ・「事務局だより」（第292号～第303号）を毎月第1月曜日に発行し、センターの活動及び情報等を会員及び関連団体に提供しました。
- ・全シ協の機関誌「月刊シルバー人材センター」を購入し、センターをはじめ行政機関等の窓口においてシルバー事業をPRしました。
- ・兵シ協・ハローワーク西宮・センター主催で「シニア世代向け終活&就活セミナー」を開催しました（参加者50人）。
- ・兵シ協が実施する高齢者活躍人材育成事業に「傾聴グループはつらつコール」を講師として6センター（芦屋市SC、尼崎市SC、明石市SC、猪名川町SC、宝塚市SC、三木市SC）へ派遣しました。
- ・センターの宣伝及びイメージアップのため、花ボランティア会員が「はつらつ館」周辺に花緑化を行うと共に市主催のオープンガーデンへ参加しました。
- ・兵シ協が実施する有料職業紹介事業は1件（手数料収入33,638円）ありました。